

やまがた

元氣

農の風

NO.40

山形県川西町

とがし

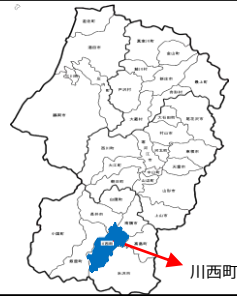
富樫

ひろき

啓貴

さん

豪雨災害や猛暑にも負けず、試行錯誤しながら、川西町のきゅうり団地で頑張る、**農業が大好きな若き経営者**



川西町

経営のきっかけ・思いをお聞かせください。



団体職員として勤務しているときに、きゅうり団地での栽培を紹介されたことが、きゅうり栽培を始めたきっかけです。

元々、専業で農業を行うことに興味がありました。野菜作りの経験はありませんでしたが、きゅうりは収益性が高く、是非、栽培したいと思い、周りの皆さんの協力を得ながら、少しずつ技術を習得しました。

きゅうり栽培は今年で5年目を迎えます。栽培初年度から1年おきに3回の豪雨被害を受け、かなり苦労はしましたが「きゅうり栽培が好き」という思いから、今まで続けてこれたと思っています。



7月の豪雨により、根腐れが発生し、茎や葉が枯れて減収になりましたが、負けずに頑張ります!!



川西町西大塚地区できゅうり栽培を中心とした複合経営（夏秋きゅうり20a、水稻3ha、ロマネスコ10a）を行っています。

農業の魅力についてお聞かせください。



農業の最大の魅力は、手間を惜しまず、手をかけた分だけ品質の良い作物を生産することができ、結果、自分の収益につながっていくことです。

常に品質、収量、収益アップを考え、試行錯誤しながら作業ができるので、作業は大変ですが毎日楽しく働いています。

そんな、農業が私は好きです。

貯水タンクを利用した、拍動式灌水装置



自動灌水装置設置により水やりの省力化。ソルゴー栽培により、風による擦果に伴う品質低下防止。作業の効率化と品質向上に成功しました。



風よけのためのソルゴー



今後の経営、目標や夢、将来展望をお聞かせください。

今年度までは、2つのきゅうり品種【v シュート、大望（たいぼう）】を栽培していましたが、生産口スの少ない品種への変更や、肥培管理の効率化を含む作業の省力化を図り、更なる高収益化を目指していきたいと思っています。

また、きゅうり団地のリース契約が終了する5年後には、ハウスでのきゅうり栽培に取り組みつつ、他の高収益作物の栽培や水稻の作付面積も増やしていきたいと思っています。

